

平成27年度野幌森林再生活動連絡会を開催

今年の野幌森林再生活動連絡会は2月19日に北海道森林管理局において開催しました。

「野幌森林再生団体型森林づくり」で活動している7団体と主催側の北海道森林管理局石狩地域森林ふれあい推進センター、野幌森林公園内国有林を管理している石狩森林管理署及びオブザーバーとして北海道博物館、空知総合振興局から参加していただき、計17名により意見交換を行いました。



各団体の活動状況

各団体の平成27年度活動状況及び次年度の活動計画を事務局より報告しました。今年度は、苗木が活着していることから補植を実施している団体はなく、例年どおり下草刈や植栽木の生長量調査、植生等の観察会等を実施しておりました。

また、次年度については、引き続き同様の活動を実施していきたいとの報告がありました。

連絡・留意事項

現地の保育として下草刈は、植栽木が被圧されない程度まで実施し、下草刈完了後は、つる等による成長の阻害を受けないように、現地実態に即した効果的な整備を引き続き実施すること。さらに、天然に発生した郷土樹種の稚幼樹を残し育成し外来種を抜き取ることにより、将来、「100年前の原始性が感じられる自然林を目指した森林づくり」が達成されることへの協力をお願いしました。

二つ目として「野幌自然環境モニタリング調査方針」と同様な植栽木や天然生稚幼樹の生育調査を今後も引き続き実施していただけるようお願いしました。

野幌森林公園に関する情報提供

事務局から野幌森林公園内での「野幌自然公園森林再生プロジェクト」の調査の取組状況について報告しました。

また、オブザーバーから野幌森林公園内の近況等について話をいただきました。



森林再生活動に関する意見交換

意見交換では、各団体から活動時等の話していただき、

- 育樹の進め方について
 - 次世代へ引き継いでいくことについて
 - 下草刈手法について
 - 今後の活動について
- 等の意見要望がありました。

当センターでは、「野幌森林再生団体型森林づくり」が今後も円滑に実施されるように支援していくこととしています。

